



消防団だより

第45号

発行 府中市消防団
 編集 府中市消防団広報委員会
 (府中市行政管理部防災危機管理課内)
 (TEL 042・335・4068)

消防団出動件数(平成28年1月から12月まで)
 災害件数(誤報を含む) 61件
 災害出動延べ人数 3,147人
 その他出動(訓練など)件数 178件
 その他出動(訓練など)延べ人数 3,778人

府中市消防団出初式 平成29年1月7日(土)府中公園

新春恒例の伝統行事である府中市消防団出初式が、平成29年1月7日(土)、府中公園において大勢の市民の方々に見守られる中、挙行されました。

この出初式は、消防団の勇姿を市民に披露するとともに、団員にとつては、日頃からの操法訓練や規律訓練の成果を発揮し、ご臨席いただいた方々からの激励を受け、改めて地域の安全・安心のために力を尽くすことを固く誓い合う場でもあります。



一斉放水



梯子のり



分列行進

式典に先立ち、22台のポンプ車等による市内パレード、また会場内では、睦消防組による伝統の木やり行進、梯子のりが行われ、観客を魅了する素晴らしい演技が披露されました。

中田副団長による半鐘を合図に式典が始まり、表彰では高野市長から消防団歴15年の団員に感謝状が授与されました。続いて、本間団長から、永年勤続表彰として消防団歴5年、10年、15年、20年、25年の団員に表彰状

が授与されました。引き続き、新井府中消防署長より、優良分団表彰として第1分団、第5分団、第6分団、第11分団、第12分団、第13分団が表彰されました。また、東京都三多摩消防団連絡協議会からは、優良分団として第6分団が表彰されました。

また、消防団員として長年ご活躍いただき、平成28年3月末日をもって退団された方々に、総務省消防庁長官表彰が授与されました。

式典の終盤には、指揮車を先頭に21台のポンプ車等による分列行進、第5分団によるポンプ操法演技と第2分団、第3分団、第4分団、第6分団、第7分団による一斉放水が行われました。

永年勤続者表彰

【表彰を受けて】

この度、平成29年の年頭を飾る出初式において、多くのご来賓のご臨席の下、本間団長より25年永年勤続表彰の栄を賜りました。大変光栄に思います。平成3年6月に入団して以来、消防団活動を通じて、消防活動の継続に、後援会、市当局、諸先輩の仲間で、後援会の方々の、そして家族と多くの皆様方に支えて頂いたからこそ、大変感謝申し上げます。入団から今日までの25年の間に、1995年の阪神淡路大震災を始め、多くの災害や事故により多くの尊い生命と財産が失われています。このような災害

歳末特別警戒

平成28年12月28日(水)30日(金)に歳末特別警戒を実施しました。この歳末特別警戒は、毎年12月28日～30日の3日間で行い、警戒本部を府中中央防災センターに、分所を各防災センター(分団詰所)に設置し、消防ポンプ車、ホース等の機械器具及び水利等の消防施設を点検するものです。また、各分団は、それぞれの警戒区域内を巡回し、地域住民の防火・防災の意識を啓発するための広報及び出火防止の警戒にあたりました。

また、高野市長、鈴木都議会議員及び団本部により各防災センターへの巡察を2日間に分けて行い、各分団に対して激励



団長訓示の風景

を行いました。最終日には、MCA無線機を使った震災時通信訓練を行いました。これは、震災時において円滑にMCA無線機を運用できるようにするための実践的な通信訓練であり、技術向上に効果的な訓練となりました。

が発生する度に、消防団は地域が一体となり防災力を高めるといふ大きな役割を担い、住民の安心、安全の為に必要な活動だと痛感しています。

これからも「自分達のまちは、自分達で守る」という精神を忘れず、様々な場で活動し協力していきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願ひします。

第10分団 分団長
 青島 章



第1分団	第1分団	第1分団	第10分団	第18分団	第17分団	第16分団	第15分団	第15分団	第15分団	第12分団	第12分団	第12分団	第11分団	第7分団	第6分団	第5分団	第4分団	第4分団	第1分団	5年勤続 (17名)		
井上 周亮	横田 卓	榎本 雄一郎	室 祐樹	根岸 大悟	篠 貴仁	樋口 辰太郎	萩原 一昌	才丸 満	八尾 英和	中村 翔一	熊木 雄祐	林 拓郎	永井 竜矢	大塚 竜矢	榎本 慎一郎	内海 紘夢	河内 辰徳	大久保 守	遠藤 保裕	遠藤 保裕		
第7分団	第6分団	第4分団	第15分団	第15分団	第14分団	第14分団	第13分団	第13分団	第13分団	第12分団	第11分団	第11分団	第8分団	第8分団	第8分団	第8分団	第6分団	第3分団	第3分団	第3分団	15年勤続 (15名)	
大谷 将之	川辺 清二	田中 秀彰	市川 智哉	山下 力也	澤井 和典	松村 雅浩	鈴木 直樹	朝倉 哲也	宮崎 正典	湯本 正次	大野 正次	鈴木 隆宏	海老澤 拓也	佐々木 良輔	加辺 祥信	曾我 清明	柳田 孝雅	安井 健浩	安井 健浩	安井 健浩	班長	
齊藤 祐一郎	大谷 将之	川辺 清二	市川 智哉	山下 力也	澤井 和典	松村 雅浩	鈴木 直樹	朝倉 哲也	宮崎 正典	湯本 正次	大野 正次	鈴木 隆宏	海老澤 拓也	佐々木 良輔	加辺 祥信	曾我 清明	柳田 孝雅	安井 健浩	安井 健浩	安井 健浩	分団長	
青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	25年勤続 (1名)
青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章	青島 章

府中市消防団 平成 29 年度スケジュール

- 4月 入退団式(1日) 正副分団長研修・新入団員規律訓練(大國魂神社) 互助会代議員会
- 5月 府中市合同水防訓練(多摩川緑地)
- 6月 機関員交通安全講習会 互助会親善ソフトボール大会
- 9月 北多摩地区消防大会
- 10月 健康増進大運動会 総合防災訓練
- 11月 機関員運用訓練(多摩川緑地) 秋の火災予防運動(9日~15日)
- 12月 規律訓練(府中公園) 歳末特別警戒(28日~30日)
- 1月 出初式(府中公園)
- 2月 互助会家族慰安事業
- 3月 春の火災予防運動(1日~7日)

日華斎場 防災訓練

平成 28 年 10 月 12 日（水）の 10 時より多磨町の日華斎場の秋の防災訓練に第 3 分団の高橋分団長以下 7 名で参加しました。

（株）日華の社員 46 名・多磨町会会員 38 名を含め 100 人を超える参加者で、企業の防災訓練としては非常にたくさんの方が参加してくださりました。

第 3 分団は、消防署の補助、訓練用消火器の水の詰め替えと簡易の消防操法による放水を行いました。

企業の防災訓練に町会会員が参加をするという事は地域での関係がとて良好な事が伺え、訓練自体もスムーズに進行し、各団体の連携も取れておりました。防災訓練の最後に行つた消防署、日華自衛消防隊、消防団による合同放

消防訓練特集

～今年度の防災訓練の一部をご紹介します～



日華自衛消防隊・消防団・消防署による合同放水



訓練用消火器の水の詰め替え

水は非常に素晴らしいものとなりました。第 3 分団はこのように地域や地元企業と深く繋がりをもち、色々な方々に支えられながら日々活動をしています。本年度より府中消防署白糸出張所が第 3 分団の警戒区域の朝日町へ朝日出張所として移転した事を機に、さらに消防署とも連携を密に活動に励んでいく所存です。

第 3 分団 団員 加藤 泰裕

第三中学校 消防訓練



初期消火訓練の指導（奥の黄色のテントは煙体験）



模擬消火器での実践訓練

私達第 11 分団は、平成 28 年 9 月 24 日（土）に府中第三中学校の防災訓練に参加しました。近年防災意識が高まる中で、小・中学生を対象に、模擬消火器を使った初期消火訓練、地震体験車体験、煙体験、応急救護訓練を行い、言葉では伝えられない様々な実践・体験をして頂きました。

初期消火訓練では、普段は馴染みのない消火器の使い方に加え、火事を発見した際は大人に知らせたり、消防署に連絡したりを徹底する事や、むやみに近づかず消火器の位置をまず把握することなどが重要と伝えました。指導しながら自身も

第 11 分団 団員 永井 拓郎

健康増進大運動会

平成 28 年 10 月 9 日（日）、市民陸上競技場において消防団員の健康増進を目的とした健康増進大運動会が開催されました。消防団員とその家族、また消防署からも 1 チームが出場し、熱戦が繰り広げられました。

【総合】	優勝	第 7 分団
	準優勝	第 11 分団
	3 位	消防署
【600mリレー】	優勝	第 7 分団
	準優勝	消防署
	3 位	第 5 分団

府中市総合防災訓練

（市内三会場開催）に参加して

平成 28 年 10 月 23 日（日）府中市内三会場にて総合防災訓練が実施されました。私たち第 18 分団は第七中学校の訓練会場に参加しました。大規模な地震が発生したことを想定して市民及び防災関係機関が合同で初期消火訓練や応急救護訓練、仮設トイレの設置などの訓練を実施しました。小中学生を含む多数の参加があり、地域住民の主体的な取り組みによる自助・共助を基本とした訓練が実施されました。



地域の学生への指導

普段生活している何気なく使用しているものや、普段は馴染みのないものなどが災害現場では役立つことを学びました。災害時は指定避難場所となっている小中学校に地域住民の方が多数避難されることが予想されます。今回、習得した技術や知識を十分に発揮し、地域防災リーダーとして活躍できるよう日頃から訓練を重ねてまいります。

第 18 分団 団員 角 真一



応急救護訓練



仮設トイレの組立・設置

目で見る消防団

『54.8%』

突然ですが、『皆様の消防団とは何ですか？』と聞かれたら、どのように答えますでしょうか？

消防団とは、自営で働いている人たちが、地元のために集まり活動するボランティア団体だと思われがちですが、実は様々な職種の人たちが夜の仕事をしながら、昼夜を問わず発生する災害へ出動し、地域の見回りを行う警戒活動や市民の参加する防災訓練などでレクチャーをする非常勤の特別地方公務員なのです。そのために、府中市消防団でも様々な訓練を積み重ね、いつ起こりうるかわからない災害に対処するために活動を行っています。

そこで最初に登場した『54.8%』とは、在籍している消防団員のサラリーマン比率です。昔は、自営でなければ消防団員はできないといわれてきました。現在、そんなこともなくサラリーマンもたくさんいます。実際に筆の在籍している分団でも看護師や商店の店員や銀行員や学生もいます。様々な職種でも参加できる地域活動、それが自分の住んでいる地域のために、消防団に参加してみませんか？

編集後記

今年度は、会長をはじめ広報委員会のメンバーも大幅に交代したので、内容も新しくお届けする第 1 号となりました。紙面リニューアルのために 5 月からの毎回の会議で各委員が様々な意見を出してもらい、皆様に読んでいただけるように検討してきました。今号からはより身近に感じていただくために消防団活動をクロックアップしていき、写真や文字を大きくすることでより市民の皆様にご覧いただきやすいようにいたします。また活動実績が見えつらかったのが、1 年ごとにまとめた災害出動件数を報告していきます。紙面のサイズが決まっていますので、なかなか大幅にリニューアルはできませんでしたが、次号から少しずつ内容の刷新を図っていき市民の皆様にご覧いただけるようにしたいと思います。今後とも消防団活動にご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。

広報委員長 第 17 分団 団員 鈴木 祐太



広報委員会名簿

- 会長 堀江 郁
- 副会長 志村 祐誠
- 副団長 鈴木 泰吉
- 広報委員長 加藤 正吉
- 東部広報委員 比留間 宏幸
- 東部広報委員 田中 正徳
- 東部広報委員 堀内 成典
- 東部広報委員 河内 慎一郎
- 中部広報委員 石田 博博
- 中部広報委員 山田 慎一郎
- 中部広報委員 秋山 直樹
- 中部広報委員 加部 拓貴
- 中部広報委員 岡部 幸一郎
- 西部広報委員 石村 祐太
- 西部広報委員 稲村 智弘
- 西部広報委員 越智 昌也
- 西部広報委員 松本 直樹
- 西部広報委員 大丸 英樹